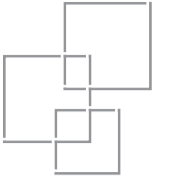


9月定例会では、9月2日から4日にわたり18人の議員が一般質問を行い、太田市政の現状や将来に対する方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認のうえ1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、一般質問の様子は太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。

また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで12月下旬からご覧いただくことができます。





災害対策について



太田クラブ 中村 和正

議員 本市の各避難所の受け入れ可能人数と、備品の整備状況を伺います。

総務部長 コロナ禍においては行政センター等の第1避難所で約1,800人、中学校等の第2避難所で約1万人が避難できると見込まれます。備品は飲料水、食料、毛布等のほか、非接触型体温計、マスク、手指消毒液等を準備しており、今後は小型発電機の整備を予定しています。

議員 避難所に関する情報や、避難時に自身で持参すべきもの等について、市のホームページやSNSだけでなく、高齢者にも分かりやすい媒体で公開すべきと考えますが、所見を伺います。

総務部長 市で準備できる物品には限りがあるため、可能な限り必要品を持参してもらえよう、広報等を通じて周知していきたいと考えます。

議員 避難所での新型コロナウイルス感染症防止対策として、組み立て等が簡単にプライバシーの確保もできる簡易テントの活用について所見を伺います。

総務部長 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営ガイドラインに基づき、テント型のパーテーションや段ボールベッド等を整備予定です。



議員 災害対策の根幹とするため、本市で国土強靱化地域計画を作成することについて市長の所見を伺います。

市長 自らの命は自ら守れるよう、日頃から対応を考えてほしいと思います。

■その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・分煙環境の整備について
- ・パナソニックラグビーグラウンドの今後の活用について



広聴の充実強化について



創政クラブ 板橋 明

議員 市民からの意見、要望、その対応等を全庁的に一元管理できるシステムの構築について所見を伺います。

市民生活部長 今後、研究をしていきたいと考えます。

議員 市長への手紙等、市民から市長宛てに届いた意見等に対し、現状は各部長名で回答されています。市長へ届いているかと疑問を抱く市民もいると思いますが、その決裁処理について伺います。

市民生活部長 市長への手紙は市長決裁処理としており、必ず市長が目を通していただきます。その他の文書での回答は苦情・要望処理要領に基づいて各部長名で行っていますが、今後、市長名での回答について検討したいと考えます。



議員 本市における広聴事業について、市長の所見を伺います。

市長 市長への手紙は、以前は自筆で回答していましたが、数が増えたため現在は各部長による文書、または私が電話で回答しています。広聴全体については、寄せられる声を取り上げて丁寧に回答した上で、今後に生かしたいと思います。

議員 行政から市民へ発信する広報と、市民のニーズを把握する広聴は密接不可分です。広報事業を行う企画部に広聴の事務分掌を移し、一体化を図るべきと考えますが、所見を伺います。

市長 各部署で受け付け、回答が市民にきちんと届くシステムが大切と考えます。組織の一元化ではなく、各部署での情報伝達を徹底し、広聴と具体的な行動が一致するよう心掛けたいと思います。

■その他の質問

- ・紙資源の回収拡充について
- ・道路占用の電柱管理について



本市における農地保全について



立憲民主党 神谷 大輔

議員 本市の農村整備に係る陳情の中で、優先すべき案件の現状を伺います。

農政部長 39件のうち昨年度に4件が完了し、本年度は5件の工事をを行います。

議員 多面的機能支払交付金事業の概要と今後について伺います。



農政部長 農地や水路等を管理する組織に対し、水路の掘りざらいや農道の草刈り等を行う際に国、県、市から交付金を交付します。農業者が減少していることから、地域住民と協働した取り組みも想定されています。県では、活動の継続が困難な組織と地元大学との協力体制を構築すべく調整中であり、本市もこれをサポートするとともに、地域の各組織等の協力も得

られるよう推進していきます。

議員 農地保全に向けた事業への取り組みについて、市長の所見を伺います。

市長 農地保全の大きな目的は食料の確保ですので、土地改良事業等により効率的に農業ができる環境をつくりたいと思います。また多面的機能支払交付金事業について、学生等、地域住民の協力を得ながら積極的に進めたいと考えます。

議員 コロナ禍において、小規模農村整備事業として重点的に陳情案件を整備し、地元業者に工事等を請け負ってもらうことで経済対策につなげるべきと考えますが、所見を伺います。

市長 コロナ禍にあるかは関係なく、市民生活を維持するために必要な事業を行うことが大切です。特に裾野の広い土木、建築関係の業者には協力して事業を進めてもらいたく、その中に農地保全に関する事業も含まれると思います。

■その他の質問

- ・企業版ふるさと納税制度について



(仮称)太田西複合拠点公共施設建設事業について



太田クラブ 大川 敬道

議員 本事業の現在までの経緯と、プールの建設について伺います。

企画部長 建設予定地については、平成28年3月定例会において、太田市公認プール建設事業予定地として太田市土地開発公社の先行取得に関わる債務負担行為が議決されたものです。その後、建設予定地周辺で老朽化した施設の建て替えや移転等、新たな課題が生じたことから、平成30年3月定例会において、改めて公共施設の複合化建設事業用地として、債務負担行為の変更が議決されました。引き続き、プールの建設は候補の一つとしていますが、建設費、維持費とも多額となることが想定されることから、他の公共事業との財源等のバランスも十分に考慮し、優先順位を決めて、導入施設を検討していきたいと考えます。

議員 本市の合併後、旧太田市地域ではさまざまな大型公共事業が行われたものの、旧3町地域ではほとんど変化がありません。西部地区における公共施設の

建設について、市長の所見を伺います。

市長 現場や市民の声を聞き、図書館、保健センター、行政センターの統合を図ることを中心として考えています。



議員 プールの建設用地を購入したにもかかわらず、その事業計画を変更することについて所見を伺います。

市長 現状、市民の希望や水泳の競技人口に鑑みても、本市にプールを建設する必要性は大きくありません。目的は変わりますが、準備を進めたいと考えます。

■その他の質問

- ・ごみに関する諸課題について
- ・ごみの減量、搬出等について
- ・高齢者等のごみ出し支援について